

自分の経験を伝え、選手と共にチームを作り上げたい——
今年度から、しずおか市町対抗駅伝競走大会の島田市チーム監督を務める増田さん。今も現役の競技者として、また会社経営に携わった社会人として、多彩な経験を選手たちに伝えていきます。

【企業で学んだチーム力】

自身も実業団のマラソン選手として活躍した増田さんですが、29歳の時に競技を引退。その後は同じ家電メーカーに勤務しました。猛勉強の末、中小企業診断士の資格を取得したことが転機となり、企業の経営に携われたことが、大きな財産になったと語ります。

「会社では、優秀な部下たちがいたから、専門知識や家電業界について私が教えてもらう側でした。40代後半でタイへ転勤になった時には、日本からの支援や現地の従業員の協力により経営難を乗り越え、業績をあげることができました。そうして長い会社生活では、どんな

環境でもチームで取り組む大切さや、真面目に問題に向き合うことの重要さを学べましたね」

【2度目のマラソン人生】

今も年に数回はマラソン

たんです。65歳になり日本に帰国してからも、走り続けたおかげで、70代に3年連続で県の『ねんりんピック（10kmの部）』で優勝することができました。自分は不器用でなかなか上達しないから、やり続



市町対抗駅伝島田市チームの新監督
増田昌康さん（相賀）

大会に出場している増田さんが再び走り始めたきっかけは、タイへの転勤だったと振り返ります。

「海外赴任をきっかけに、健康管理のため、現地で盛んだったマラソンを再び始め

経験や競技経験から得た自主性やチームワークの大切さを、後進の選手たちに伝えたい」と、増田さんは力強く語ります。

「選手たちには、自主的に練習に取り組んでもらいたいんです。そうすることで自分に合った練習が生み出され、自分の限界や今の調子も分かって故障やスランプが少なくなります。走ることだけでなく、周りに感謝する気持ちや物事に取り込む姿勢も重要です。昨年末の『しずおか市町対抗駅伝競走大会』では、前回より順位を上げることができました。それは、選手たちの力だけでなく、スタッフや家族の支え、そして市民の皆さんからの応援があつてこそその結果です。そのことを、若い選手たちに分かってもらいたい。いつも周りに感謝し、謙虚に真面目に取り組むことが、成長への近道ですから」

継続と感謝の大切さを伝える増田さん。技術的な指導だけでなく、チームプレイの精神や謙虚な姿勢を礎に、チームの可能性を引き出ししていきます。



昨年11月23日にプラザおおるりで行われた結団式で、チームの代表として団旗を受け取る増田さん

Shimadajin File #78

Story 島田人



生活では、どんな

【チームに通ずる理念】

「監督として、自身の社会人